

第 333 回 公益社団法人
日本医学放射線学会関西地方会
(第 405 回レントゲンアーベント)

日時：令和 5 年 2 月 4 日 (土)
9 時 30 分～17 時 34 分

会場：ホテルエルセラーン大阪 5 階 エルセラーンホール
大阪市北区堂島 1-5-25
TEL：06-6347-1484 FAX：06-6347-1485
ホームページ：<http://www.htl-el-osaka.com/>

当番世話人：園村 哲郎
和歌山県立医科大学 放射線医学講座
〒641-8509 和歌山市紀三井寺 811-1
TEL：073-441-0605 FAX：073-441-0605
E-mail：rad333@wakayama-med.ac.jp
関西地方会 ホームページ：<http://www.jrs-kansai.jp/>

【出席者へのご案内】

◆現地とオンラインのハイブリッド開催です。

◆オンライン参加登録をお願いします。

会費 □一般（会員・非会員） 2,000 円

 □一般（世話人） 2,000 円

 □学生・初期研修医 500 円

（証明できるものをご持参あるいはメールで送ってください。）

【オンライン参加登録のご案内】

◆参加申し込みは Peatix サイトからのみとなります。

現地での当日参加申し込みはできませんのでご注意ください。

下記 URL からパソコンやスマートフォンなどから登録して下さい。

参加登録サイトの URL：<https://peatix.com/event/3414232>

参加申し込みの締め切りは令和 5 年 2 月 3 日(金)12 時です。

コンビニ/ATM 決済の場合、申込期限は令和 5 年 2 月 2 日(木)で
手数料 220 円が必要です。



◆オンライン参加のご案内は参加登録者宛にメールにてお知らせします。

◆オンライン参加者では発表に対する質問はチャット(文面)で行っていただきます。

音声による質問はできませんのでご了承ください。

【演者へのご案内】

◆オンライン参加登録をお願いします。

◆プレゼンテーション用プロジェクター1台を用意いたします。スライド枚数の制限はありません。

◆発表時間は 5 分、質疑応答は 2 分です。

◆ご発表は現地・オンライン参加に関わらず、パワーポイントによる音声付きスライドを
事前に提出し、請負業者による再生になります。当日スライドの追加・変更はできません。

◆ご発表スライドのデータ提出の締め切りは 1 月 27 日(金)です。

◆学会誌掲載用の抄録は 1 月 27 日(金)までに E-mail にてご提出ください。原稿は演題番号・演題名・所属・氏名を含めて 400 字以内(図・表なし)で学会投稿規定に準拠してください。メールアドレスは、rad333@wakayama-med.ac.jp です。

◆オンライン発表に関する詳細は演者の先生にメールでお知らせいたします。

◆感染予防対策として演壇に手指消毒をご準備いたしますのでご利用ください。

【座長へのご案内】

- ◆オンライン参加登録をお願いします。
- ◆現地参加をお願いします。

【世話人の先生へのご案内】

- ◆オンライン参加登録をお願いします。
- ◆世話人会はホテルエルセラーン大阪3階の宴会場（12:00～12:50）にて現地開催のみで行います。当日、5階の受付にて別途500円を徴収いたします。

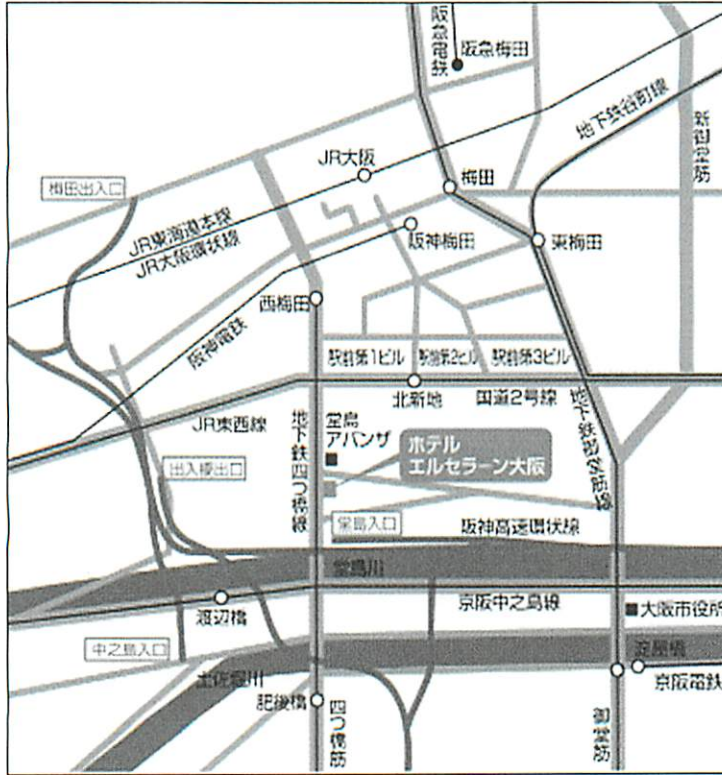
【領域講習・指導者講習のご案内】

- ◆ 今回の教育講演は領域講習（治療）1単位の取得が可能です。
- ◆ 現地参加の場合
 - ・カードリーダーで入退室管理を行いますので、日本医学放射線学会の会員カードをご持参ください。
 - ・遅刻は10分まで認めますが、早退での単位付与はできません。
- ◆ オンライン参加の場合
 - ・教育講演を最初から最後まで視聴されたことを参加ログで当番世話人施設が確認します。視聴者自身では参加ログを確認できません。
 - ・講演中にパスワードを配信します。
 - ・パスワードを入力できた方はGoogleフォームを使用したe-test（5問5択）を受けることができます。パスワード①と②を半角で連続して入力してください。
 - ・参加ログが確認できて、e-testが80%以上の正答率の方に単位が付与されます。
 - ・GoogleフォームのURLは<https://333kansaijihokai.peatix.com/>に掲載予定です。
 - ・e-testは2023年2月5日（日）23:59までにご回答くださいますようお願いいたします。
 - ・システムトラブルを含め、参加ログが確認できない場合などには単位付与ができません。悪しからずご了承ください。

【単位の証明書について】

- ・学会出席証明書は現地参加者・オンライン参加者共に後日郵送いたします。
- ・現地参加者の領域講習単位取得はカードリーダーで行います。
- ・領域講習のオンラインでの単位取得は自動的に日本医学放射線学会のマイページに反映されます。

【会場案内図】



◆所在地

〒530-0003 大阪市北区堂島 1-5-25 (受付 5 階)

電話 06-6347-1484

◆アクセス方法

<電車をご利用の場合>

- ・JR 東西線「北新地駅」より徒歩 5 分
- ・JR「大阪駅」より徒歩 10 分
- ・地下鉄四つ橋線「西梅田駅」より徒歩 5 分
- ・地下鉄谷町線「東梅田駅」より徒歩 8 分

(* ドーゾマ地下センター C 8 4 出入口)

<飛行機をご利用の場合>

- ・関西国際空港よりエアポートリムジンで 65 分
(JR 関西快速で JR 大阪駅まで 65 分)
- ・大阪空港より大阪駅前までエアポートリムジンで 25 分

午前の部

9:30-9:35 開会の辞 園村 哲郎 (和歌山県立医科大学)

9:35-10:17 Session I 放射線治療 1

座長：富士原 将之 (兵庫医科大学)、野田 泰孝 (和歌山県立医科大学)

1. 当院における前立腺癌に対する外照射併用高線量率組織内照射の後方視的解析
和歌山医大 放 稲垣 貴也、野田 泰孝、下野 竜生、粟屋 梓、
阿南 慎平、園村 哲郎
2. 子宮頸癌骨盤照射後再発に対しベバシズマブ投与後に消化管穿孔をきたした2例
兵庫がんセ 放治 丸大 満、上藺 玄、太田 陽介、
宮崎秀一郎、別所 良祐、高林 畑銘、
辻野佳世子
3. 子宮頸癌術後放射線治療後の晩期有害事象である難治性腸閉塞に対し、高気圧酸素治療が奏功した一例
兵庫医大 放 鈴木 公美、國元 亮、丹羽 康江、
富士原将之、吉村奈穂美、波多野論子、
松田 鋼介、山門亨一郎
上ヶ原病 内 大江与喜子

4. 食道癌の化学放射線療法中に非閉塞性腸管虚血を生じた一例

京都府医大 放 池田 哲、渡邊 翔、長澤 慎介、
川畑加奈子、木元 拓也、増井 浩二、
相部 則博、鈴木 弦、山崎 秀哉、
山田 恵
消内 東 瑛人、土肥 統

5. 脳血管周皮腫に対する放射線治療経験

神戸大 放腫 中井 将貴、石原 武明、佐々木理栄、
水沼 優子、梶原 彰文、岩下 和真、
妹尾 悟史、小林 加奈、宮脇 大輔、
佐々木良平
脳外 田中 一寛、篠山 隆司

6. X線治療抵抗性の上咽頭扁平上皮癌に対してBNCTが奏功した一例

大阪医薬大 放腫 小畠 一真、武野 慧、吉岡 裕人、
二瓶 圭二
耳鼻・頭頸部外科 東野 正明、寺田 哲也、粟飯原輝人、
河田 了
関西 BNCT 共同医療セ 武野 慧、粟飯原輝人、河田 了、
小野 公二、二瓶 圭二

10:22-10:57 Session II 放射線治療 2

座長：椋本 直希(大阪公立大学)、稲垣 貴也(和歌山県立医科大学)

7. 頭頸部癌に対する Quad shot の有効性の検討

| | | |
|---------|----|---|
| 近畿大 | 放腫 | 植原 拓也、西村 恭昌、福田 隼己、 李 在俊、立野 沙織、稲田 正浩、 松浦 知弘、土井 啓至、中松 清志、 細野 眞 |
| 奈良総合医療セ | 放治 | 石川 一樹 |
| 石切生喜病 | 放治 | 石田奈緒子 |
| 大和高田市立病 | 放治 | 和田祐太郎 |

8. 70代男性の食道癌放射線治療後に生じた左総頸動脈破裂

| | | |
|---------|----|--|
| 尼崎総合医療セ | 放診 | 土方陽一郎、諸岡 紳、川村 仁美、 安藤 沙那、栗山 香織、梅花 優貴、 佐藤 敏之、田中 宏明、松原菜穂子、 川端 和奈、金柿 光憲、木村 弘之 |
| | 脳外 | 永田 学 |

9. オリゴ骨盤リンパ節転移に対する MR 画像誘導定位放射線治療(SMART)の初期経験

| | | |
|-------|-----|---|
| 大阪公立大 | 放腫 | 糸山 廣重、井口 治男、椋本 宜学、 椋本 直希、阪上 茉衣、濱浦 信成、 澁谷 景子 |
| | 中放部 | 柴田 祐希、坂田 元徳、家永 晃功 |

10. 膵癌術後局所再発病変に対して、経皮経腸間膜ルートで留置した金マーカーを用いた体幹部定位放射線治療の初期経験

| | | |
|----------|----|-------------------|
| 奈良医大 | 放腫 | 猪岡 伸好、浅川 勇雄 |
| 市立東大阪医療セ | 放 | 井上 正義、下田絵美子、高濱 潤子 |

11. 5臓器 6重複癌患者の異時性両側肺腫瘍に対して体幹部定位放射線治療を行った1例

| | | |
|-------|-----|-------------------|
| 石切生喜病 | 放治 | 石田奈緒子、永田 憲司、福富 經昌 |
| | 呼腫内 | 平島 智徳 |
| | 呼内 | 南 謙一、吉本 直樹 |
| 近畿大 | 放腫 | 西村 恭昌 |

11:02-11:51 Session III 中枢神経・頭頸部

座長：赤澤 健太郎(京都府立医科大学)、小池 将隆(和歌山県立医科大学)

12. MRA で anterior communicating artery complex が twig-like middle cerebral artery 様の網状構造を呈した一例

京都山城総合医療セ 放 白井紗英子、会田 和泰、伊藤 誠明、
石原 潔

13. Segmental spinal dysgenesis の一例

滋賀医大 放 中井 美里、瀬古安由美、澤田 克也、左古 珠梨、
木田友佳子、李 徳子、北原 均、渡邊 嘉之

14. 顔面神経麻痺、小脳橋角部腫瘤を契機に診断された神経梅毒の一例

京都大 放診 日高 啓介、奥知 左智、伏見 育崇、
中島 諭、坂田 昭彦、日野田卓也、
大谷 紗代、櫻間 梓、Wicaksono K Pandu 、
田川 弘、汪 洋、池田 賢司、伊藤 秀一、
瀧谷 幸、中本 裕士
脳内 福永 晃久、下竹 昭寛

15. 白質脳症を来した硬膜動静脈瘻の1例

大阪大 放診・IVR 里村 洋樹、高橋 洋人、三浦あづさ、
綿谷 朋大、崎須賀敬央、松尾 千聡、
有澤亜津子、富山 憲幸

16. 母斑基底細胞癌症候群(Gorlin 症候群)の 1 例

近畿大 放診 福田 隼己、関 紳一郎、浦瀬 篤史、上月 瞭平、
小寺 卓、鈴木 絢子、浜川 岳文、藤谷 哲也、
石田 愛、平山 歩、若林 雄一、松久保祐子、
山田 穰、兵頭 朋子、任 誠雲、甲斐田勇人、
小塚 健倫、鶴崎 正勝、石井 一成

17. 耳下腺管に沿った進展が疑われた耳下腺粘表皮癌の一例

大阪公大 放診・IVR 大森 文子、塚本 太朗、堀内 大右、
小谷賢太郎、立川 裕之、三木 幸雄

18. 肺癌術後フォロー中にふらつきで発症した PAPT の一例

堺市立総合医療セ 放診 宮内裕美子、池原実華子、坂本 篤彦、
宮田 知、中村 純寿、栗生 明博

12:00 ~ 12:50 ランチョンセミナー

座長：南口 博紀（和歌山県立医科大学）

「最先端の医療機器が実現する IVR の精度向上」

奈良県立医科大学 放射線診断・IVR 学 田中 利洋 先生

共催：キャノンメディカルシステムズ株式会社

13:00~ 14:00 教育講演

座長：阿南 慎平（和歌山県立医科大学）

1. 「晩期障害軽減を目指した頭頸部癌の治療計画」

奈良県総合医療センター 放射線治療科 石川 一樹 先生

2. 「局所進行肺癌の放射線治療計画：IMRTを中心に」

近畿大学医学部 放射線腫瘍学部門 土井 啓至 先生

14:05－14:40 Session IV 胸部

座長：本多 修（関西医科大学）、佐藤 大樹（和歌山県立医科大学）

19. 本邦では稀な播種性コクシジオイデス症の一例

京都府医大 放 和田 享万、河上 享平、前原 陽介、
山田 恵
呼内 立花 佑介
感染・検査 山本 千恵
人体病理 内中 将貴、宮川 文

20. 脂肪吸引後に肺脂肪塞栓症をきたした一例

大阪公大 放診・IVR 小谷賢太郎、立川 裕之、大森 文子、
塚本 太朗、三木 幸雄
救急 松尾 健志、出口 亮、溝端 康光

21. 三尖弁閉鎖症を伴った Cantrell 症候群の 1 例

大阪大 放診・IVR 烏山 夏奈、秦 明典、二宮 啓輔、
土居 秀平、山形 和樹、大平 亮介、
吉田悠里子、菊地 紀子、梁川 雅弘、
富山 憲幸

22. 尿管癌治療後偶発的に発見された右心室腫瘍の一例

京都府医大 放 是枝 哲彦、岡本 敏幸、弓場健太郎、
窪田 博亮、山端 康之、吉川 達也、
山田 恵

23. 胃胸腔瘻の1例

関西医大

画像

寺田 圭那、山本真太郎、松下 実可、
岸野 哲平、森勢 里美、上野 裕、
菅 直木、香西 雅介、本多 修、
黒川 弘晶、谷川 昇

14:45-15:34 Session V 腹部

座長：西岡 瑛子 (神戸大学)、田中 涼大 (和歌山県立医科大学)

24. 悪性腫瘍との鑑別に苦慮した肝 reactive lymphoid hyperplasia の一例

天理よろづ病 放 野田 敏行、大西 基文、南 暁彦、
山下 直生、安尾 俊祐、辻 優一、
鈴木 瑞恵、太田 理恵、横田 悠介、
齋藤亜矢子、大久保豪祐、谷口 尚範、
久保 武、野間 恵之
病理 金森 直美

25. 多発血管炎性肉芽腫症に生じた両腎多発結節の1例

大阪赤十字病 放診 羽賀すみれ、西尾 直子、中島 宏徳、
舌野 富貴、前倉 拓也、森 暢幸、
塩崎 俊城、古田 昭寛
泌尿 前川 けん、大西 裕之
リウマチ・膠原病内科 妻鹿 旭

26. イレウスで発症した回腸神経内分泌腫瘍の1例

市立奈良病 放 日高 晶子、清水 翔、伊藤 博文、
穴井 洋
外 毛利 響香、菅沼 秦
病理 島田 啓司

27. 人工血管周囲に発生した悪性リンパ腫の一例

| | | |
|------------|--------|--|
| はりま姫路総合医療セ | 放診・IVR | 高橋 拓也、小出 裕、 末永 裕子、寺田 聡子、 高橋 真依、山本 雄也、 谷 龍一郎、中野由美子、 川崎 竜太 |
| | 心外 | 藤末 淳、村上 博久 |
| 神戸大 | 放診・IVR | 村上 卓道 |

28. 粘液塊による閉塞性黄疸を来した膵 IPMC 十二指腸穿破の 1 例

| | | |
|-------|-------|---------------------------------------|
| 大阪医薬大 | 放診 | 上田 賢一、山本 聖人、重里 寛、 中井 豪、山本 和宏、大須賀慶悟 |
| | 内II | 植野紗緒里 |
| | 一般・消外 | 米田 浩二 |
| | 病理 | 栗栖 義賢 |

29. 膵転移および肺転移をきたした頭蓋内孤立性線維性腫瘍(SFT)の 1 例

| | | |
|---------|--------|---|
| 奈良総合医療セ | 放診 | 岸田 勇人、中川 裕之、西本 優子、 岡田 博司、正田 哲也、正田 麻紀 |
| | 脳セ | 橋本 宏之 |
| | 消外 | 高 濟峯 |
| | 呼外 | 櫛部 圭司 |
| | 病理 | 石田 英和 |
| 奈良医大 | 放診・IVR | 宮坂 俊輝、田中 利洋 |

30. 膵 Intraductal papillary mucinous carcinoma (IPMC) に対する CT, MRCP による画像解析

| | | |
|----------|----|-------------|
| 京都第一赤十字病 | 放診 | 早川 克己、佐野 優子 |
| | 病理 | 浦田 洋二、柳澤 昭夫 |
| | 消内 | 佐藤 秀樹、梶中 克幸 |

15:39-16:21 Session VI 骨盤部その他

座長：中井 豪（大阪医科薬科大学）、小山 貴生（和歌山県立医科大学）

31. UAE 後に発見された intravenous leiomyomatosis の一例

| | | |
|------------|--------|---|
| 神戸大 | 放診・IVR | 細見竜太郎、岡田 卓也、浦瀬 靖代、 松代 啓吾、佐々木康二、元津 倫幸、 上嶋 英介、上野 嘉子、山口 雅人、 村上 卓道 |
| | 産婦 | 西本 昌司、長又 哲史、寺井 義人 |
| 神戸低侵襲がん医療セ | 放 | 今岡いずみ |
| ツカザキ病 | 放 | 前田 隆樹 |

32. 腎細胞癌術後に左卵巢転移を来たした 1 例

| | | |
|-----------|----|---|
| 神戸市立中央市民病 | 放診 | 堂畑 慶之、有蘭 茂樹、文元 方哉、 石川 翔、吉田 篤史、岡 祥次郎、 廣井 崇、山本 有香、染矢 祐子、 光野 重芝、菅 剛、金尾昌太郎、 山根登茂彦、石藏 礼一、安藤久美子 |
| | 産婦 | 松林 彩 |
| | 病理 | 原 重雄、山口 貴子 |

33. 子宮体部に発生した中腎様腺癌の 1 例

| | | |
|---------|-----|--|
| 大阪総合医療セ | 放診 | 井上奈穂子、PAS MACIEJ WALDEMR、 馬場 玲亜、千菊 有紗、前林 徹範、 濱本 晋一、大隈 智尚、村田佳津子、 真鍋 隆夫 |
| | 病理診 | 坂井田美穂 |
| | 婦人科 | 安部倫太郎、川村 直樹 |

34. 人工股関節置換術後の CT で偶然発見された phosphaturic mesenchymal tumor の 1 例

兵庫医大 放 波多野論子、河中 祐介、松田 鋼介、
國元 亮、高萩 基仁、横山 裕至、
谷口 純一、河本 悠、鈴木 公美、
稲尾 由江、小笠原 篤、古川 佳孝、
児玉 大志、加古 泰一、若田 ゆき、
丹羽 康江、北島 一宏、高木 治行、
富士原将之、池田 讓太、
小林 薫、山門亨一郎
整外 武田 悠、橘 俊哉
病理 井出 良浩、廣田 誠一

35. 関節炎精査の MRI が診断の契機となった神経芽腫の 2 例

兵庫こども病 放診 曾 菲亜、乗本 周平、赤坂 好宣

36. Subcutaneous panniculitis-like T cell lymphoma の 1 例

日赤和歌山医療セ 放診 玉置 栞名、尾谷 知亮、古田 幸也、
櫻田 紘基、中村 悠理、油谷 英孝、
矢嶋 諒、徳永 幸史、河村 晃、
山田 浩史、前田 力、梅岡 成章
小児 深尾 大輔、横山 宏司
病理 中山理祐子

16:26-17:22 Session VII IVR

座長：小野 祐介（大阪大学）、生駒 颯（和歌山県立医科大学）

37. 稀な肝切除後の肝動脈門脈瘻に対する塞栓術で腹水が減少した1例

和歌山医大 放 奥平 隆太、田中 涼大、福田 耕大、植田 昇太、
東野 信行、上裕 敦文、小山 貴生、佐藤 大樹、
生駒 颯、南口 博紀、園村 哲郎
救急 小山 史恭、島 望

38. 皮膚原発悪性黒色腫の多発肝転移に対して全身化学療法下の TACE で良好なコントロールを得た一例

大阪大 放 掛本 真治、東原 大樹、小野 祐介、
田中 会秀、木村 廉、柏木 栄二、
小齊 信也、矢野 弘樹、是恒 悠司、
富山 憲幸

39. 仮性動脈瘤2例に対する NBCA-Lipiodol-Iopamidol を用いたバルーン併用下動脈塞栓術

和歌山医大 放 東野 信行、園村 哲郎、河合 信行、風呂谷拓希、
奥平 隆太、福田 耕大、生駒 颯、南口 博紀

40. 副腎静脈サンプリングにおけるアルドステロン濃度の血流モデリング

和歌山医大 放 福田 耕大、東野 信行、小山 貴生、
生駒 颯、南口 博紀、河合 信行、
園村 哲郎
近畿大 生物理工学医用工学 加藤 暢宏

41. シミュレーターを用いた放射線医学教育の試み

奈良医大 放診・IVR 米今 知佐、山内 哲司、茶之木悠登、
佐藤 健司、市橋 成夫、西尾福英之、
丸上 永晃、伊藤 高広、平井都始子、
田中 利洋

42. 7種類の造影剤を用いた NBCA-Lipiodol-Contrast Material (NLC)の最適な混合比の決定

和歌山医大 放 福田 耕大、東野 信行、生駒 顕、
南口 博紀、河合 信行、園村 哲郎

43. 低粘度化された油性造影剤の基礎的検討

和歌山医大 放 東野 信行、園村 哲郎、河合 信行、福田 耕大、
生駒 顕、南口 博紀

44. NBCA-Lipiodol-Iopamidol を用いた glue in plug 法の有用性に関する検討

和歌山医大 放 生駒 顕、風呂谷拓希、居平 浩延、福田 耕大、
小池 将隆、植田 昇太、奥平 隆太、東野 信行、
田中 涼大、上裕 敦文、小山 貴生、佐藤 大樹、
南口 博紀、園村 哲郎

【協賛企業】

キャノンメディカルシステムズ株式会社
株式会社大黒
PDR ファーマ株式会社

【広告企業】

アキュレイ株式会社
朝日インテックJセールス株式会社
エーザイ株式会社
ゲルベ・ジャパン株式会社
株式会社島津製作所
GE ヘルスケアファーマ株式会社
セイコーメディカル株式会社
テルモ株式会社
東レ・メディカル株式会社
日本ゴア合同会社
日本ライフライン株式会社
株式会社根本杏林堂
バイエル薬品株式会社
富士フィルムメディカル株式会社
ボストンサイエンティフィックジャパン株式会社
メディキット株式会社

(五十音順)